



# 週報Rotary

所沢西ロータリークラブ  
RI第2570地区 第3グループ

会長：内野 忍 副会長：栗原 和明  
幹事：徳江 和宏 会長エレクト：木下 精基  
クラブ管理運営委員長：新井 孝敏

例会場：〒359-1145 埼玉県所沢市山口2942 掬水亭

TEL.04-2925-7111

事務局：〒359-1118 埼玉県所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F

TEL.04-2926-1666

例会日：毎週火曜日(PM12:30～13:30)

FAX.04-2926-5151

E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp HP <http://www.tokorozawa-nishirc.net/>

**4つのテスト** ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

1.点鐘…会長 2.斉唱…ロータリーソング 3.来賓紹介 4.会長・幹事報告 5.委員会報告

第1782回 例会 2025・12・9

ニコニコ 23, 000 累計 359, 000 円

卓 話	例会当番	記念祝福
12/9 (株)野菜クラブ 代表取締役 澤浦 彰治様	室伏 秀樹	*12月ご夫人誕生 本橋 正夫 上野 孝二 大館 信夫
12/16 振替休会 12/13 クリスマスP	本橋 正夫	
12/23 例会取り消し		
12/30 例会取り消し		

■出席報告	
月 日	12/2
会員数	40
出席者	28
入会者数	0
退会者数	0

会長の時間 内野 忍



皆様こんにちは。先ほど幹事より報告がございましたが、先週金曜日に 2570 地区がバナで在られる坂口孝さんが亡くなられました。本来ならば 10 月 14 日にガバナー公式訪問を行う予定でありましたが、闘病中と言う事で延期になり、3 月に元気になったお顔を拝見できると思っていた矢先の事で残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。

話は変わりますが、11 月 22 日、23 日と川越プリンスホテルにて地区大会が開催されました。当クラブからは高橋がバナ補佐を輩出していると言う事で、多く

の会員の皆様に参加して頂きまして、誠にありがとうございました。

そして、今週金曜日より吉安ロータリーに姉妹クラブ 締結式を行うために台湾に総勢 5 名の会員と共にを行ってまいります。また、毎年恒例であり誠に恐縮ではございますが、パ・タ会長様にはお祝いを頂きたいと思いますので、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

また、来週 13 日土曜日は池袋のサンシャイン 60 にてクリスマスパーティーを行ないます。今年も大勢の会員様とご家族に参加して頂けると言う事で誠にありがとうございます。

そして翌日の日曜日には「こどもとうきち将棋大会」が行なわれます。今大会は所沢西ロータリーが主幹となりますので、後ほど改めてお願ひ致しますが、大勢の方のご協力を宜しくお願ひ致します。

本日は卓話講師として、私も含めて所沢市に係る人たちは大変お世話になりました 前所沢市副市長の中村俊明様に卓話をして頂けると言う事で、宜しくお願ひ申し上げます。

それと、この後は年次総会を行います。いくつか

議題がございますので皆様の慎重審議を宜しくお願い致します。

最後に、今週末吉安ロータリークラブに訪問するにあたり、今年9月に発生した台風により被害を受けた花蓮県の為に義援金 30 万円を寄付しようと思うのですが、それに当たり会員皆様の事業参加費からのご寄付をお願い致したく存じます。

今週は会長の時間というよりも、感謝とお願いの時間と言う事で締めさせて頂きます。本日も宜しくお願い致します。

### 幹事報告

徳江 和宏

- ✿ 訃報 当地区ガバナー 坂口 孝様(享年 71歳)が、11月 28 日ご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。  
通夜 12月 9 日 (火) 18 時より  
告別式 12月 10 日 (水) 10 時 30 分より  
式場 川越市民聖苑やすらぎのさと
- ✿ 疾病予防と治療月間 リースのご案内
- ✿ 2025 年度 第 2 回カウンセラー会議及びクリスマス会のご案内 12 月 21 日 (日) アルカーサル迎賓館川越
- ✿ 2025-2026 年度 職業奉仕委員会セミナー開催のご案内 令和 8 年 2 月 1 日 (日) 14 : 00 点鐘 東松山文化センター
- ✿ 所沢市内 3 ロータリークラブガバナー公式訪問について 令和 8 年 3 月 17 日 (火)
- ✿ 週報・・・新所沢 RC



本日のお客様をご紹介します。所沢市 前副市長 中村 俊明様です。どうぞ宜しく御願い申し上げます。卓話どうぞ宜しく御願い致します

### ♪ 今日のソングリーダー ♪



\*パスト会長 室伏 秀樹さん



### ニコニコボックス

内田 学

- 内野 忍 本日の年次総会 皆様宜しく御願いします。中村様、急な卓話のお願い引き受けて頂き、有難うございます。
- 徳江 和弘 中村前副市長様、本日は宜しく御願いします。
- 鈴木 真澄 中村顧問、市役所委ではお疲れ様でした。今日は卓話 宜しく御願いします。
- 木村 孝子 皆様 今日は本日卓話前所沢副市長 中村俊明様宜しくお願いします。
- 本橋 正夫 中村様 前副市長の職 長い間御苦労様でした。大変お世話になりました。本日は宜しく御願い致します。
- 石井 秀夫 中村様本日は誠に有難うございます。卓話どうぞ宜しく御願い致します。
- 内田 学 バレンタインジギヤンボ 3,000 円当たりました。

**大館 信夫** 先日の地区大会 高橋がバナ・補佐 内野会長 徳江幹事 お疲れ様でした。  
**恒良 裕子** 本日は中村様 宜しくお願ひ致します。健康診断でお世話になっております。  
**木下 精基** 中村様 お久し振りです。お元気そうで安心しました。本日は宜しく御願いします。  
**宮崎 光正** 来週はクリスマスパーティーです。皆様楽しみましょう。宜しくお願ひします。  
**金岡 悟** 中村前副市長 ようこそ西ローラーへ。本日の卓話どうぞ宜しく御願い致します

✿ 役員選考委員長

金岡 悟



10月30日（木）堤新亭様で、11名のパ・スト会長様で、パ・スト会長・副会長会を開催致しました。

2026~2027年 会長バニーに宮崎 光正氏、副幹事に吉田 孝氏 副会長に鈴木 真澄氏が推薦されました。12月2日の理事会において、全員一致でお三人が承認されました。ご報告致します。

## 年次総会

内野 忍会長



2026-2027年度の理事・役員を発表させていただきます。役員の方は大変だと思いますが、一生懸命頑張って参りますので、会員の皆様のご協力を心からお願ひ申し上げます。

会長	木下 精基
副会長（公共イメージ）	鈴木 真澄]
会長エグゼクティブ	徳江 和宏
幹事（会長ミニ）	宮崎 光弘
クラブ管理運営委員会	原 紘大
会員増強委員長	岡川 拓之
奉仕プロジェクト委員長	金岡 悟
財団・米山委員長	本橋源太郎
親睦委員長	木村 孝子
職業奉仕委員長	朝日 和久
会計	石井 秀夫
直前会長	内野 忍
副幹事	吉田 孝

**卓話 「副市長を終えて、これから之所沢を考える。」**

所沢市 前副市長 中村 俊明様



❤️ 講師紹介

プログラム委員長 金岡 悟

本日の卓話の講師は、前所沢市副市長 中村 俊明様です。どうぞ宜しく御願い申し上げます。



皆さんこんにちは。ただ今ご紹介いただいた、前副市長の中村俊明でございます。

在職中は、内野会長を始め、所沢西ローラークラブの皆様には市政全般にわたりご理解ご協力を賜りこの

場をお借りし厚くお礼申し上げます。

また、地域において様々な奉仕活動に励まれておりますことに、深く敬意を表するものでございます。

先月の中旬に、中議員からメールが来て、12月の例会で卓話をお願ひしたという依頼を受けました。卓話をするほどの引き出しがある訳でもなく、また人前で話すのはあまり得意ではありませんし、しかも滑舌も悪いときてますので、お引き受けするのをためらっていましたが、どうしてもという事ですので引き受けることにしました。公務員の話は面白くないと良く言われます。

卓話にはほど遠い、とりとめのないつまらないお話になると思いますが、また、お聞き苦しいとは思いますが、よろしくお願ひします。

はじめに、自己紹介を少ししておきます。

昭和30年に松井地区の松郷で生まれ育ち、今年で70歳になりました。大学卒業後、昭和54年に所沢市役所入庁、経営企画部長で60歳の定年を迎え、平成27年（2015年）から特別職である上下水道事業管理者5年間、副市長を5年2ヶ月勤め、今年の5月末で退任し、現在無職、年金生活者となっています。

私が市役所に就職した時期は、民間の方が給料等の勤務条件が格段に良かったので、私の大学ではで市役所に入る人はあまりいませんでした。私も最初から市役所に入りたかった訳ではありませんが、ネもなく、学業を疎かにしていたため、大手企業に軒並み相手にされませんでした。それなら地元市役所も良いかなと思い受けたことにしました。それでも競争率は当時10倍ぐらいあったと記憶しています結果論になりますが、今では市役所に入って良かったと思っています。

今日のテーマは「副市長を終えて、これから所沢を考える。」となっていますが、何を話そうか昨日パソコンを打ちながら原稿を作りました。

まず、副市長を辞めて、今の気持ちを率直に申し上げると、職責から解放され、ストレスもなく、ホットしているというところでございます。

それだけ副市長の職は自分で言うのも変ですが、思い通りにいかない、アレッシャーのかかる大変な職だと思います。

副市長の職務は、市長を補佐し、市長の指示を受

けて政策や企画を担当することと、市の職員を指揮・監督することです。企業で言えば、COO（最高執行責任者）のような存在です。市長と職員の間での調整、また議会との折衝など簡単に解決できるものではない案件が多いです。

市長からは色々と新たな課題を提示されますので、それが市民や議員の多くの賛同を得られるものであれば、割とスムーズに進みますが、そうでない場合はその調整に多くの労力と時間を要します。

私は、部長職と特別職を14年間やってきました。

最初の1年は当麻市長、最後の1年が小野塚市長、そして真ん中の12年は、藤本市長の任期である3期12年と重なっています。そんなこともあって、私は藤本市長の側近中の側近といわれていたようです。

藤本市長は、4期目を目指し、2023年の市長選に挑みました。この時も現役が優位と言われていましたが、結果は16000票の大差で小野塚現市長に負けました。敗因はいろいろ言われていますが、最近の選挙はSNSを活用した方が優位にたつといったこともあるのかもしれません。選挙の仕方も時代とともにかわりつつあると感じています。

因みに、藤本市長が初当選した2007年の市長選では、当麻市長が2期目に挑みましたが、新人の藤本さんが1600票差の僅差で勝利しました。このときも事前予想では、当麻市長有利と言われていました。

藤本市長は、就任早々、すでに導入が決まっていた狭山ヶ丘中学校のエアコン設置を白紙に戻しました。これがエアコン問題として市民、議会を交え大論争となつたのは、皆さんもご承知の事と思います。私は藤本市長の3期目に副市長就任しましたので、その当時は深く関わりは持っていましたが、大変なことになったと感じていました。

狭山ヶ丘中のエアコン設置は、国の補助金を得て前年度に設計が終了し、工事に入る段取りになっていました。それを白紙に戻したことから地元の保護者等が大騒ぎになり、政治問題へと発展して行きました。何年もの間職員はその対応に追われました。藤本市長2期目の市長選は、2015年におこなわれました。この年は、2月にエアコン設置の住民投票も行われ、エアコンが市長選の争点になりました。立候補したのは藤本さんのほか、並木正芳氏、石井弘氏、市川治彦氏でした。結果はエアコン問題の逆風をもろともしない

で並木さんに 17000 票の大差で再選しました。

藤本市長 3 期目の市長選は、2019 年並木正芳さんとの一騎打ちとなりましたが、藤本市長が小中学校へのエアコン設置に政策変更したこともあり、争点がなくなり 17000 票で再選を果たしました。

そして、この 3 期目は私が副市長として支えた時期でした。この時はコロナが発生したタイミングでしたので、これに対応することが求められました。全庁的な対策本部を設置し、学校や保育園、公共施設の閉鎖、ワクチン接種体制補確保、医師会、保健所との調整など大変な時期でした。コロナ問題で市保健所設置が議員のなかから要望されるようになり、藤本市長は市立の保健所設置に反対してましたので、これが新たな争点となりました。

一方この時期、議会では通年会期制の導入を進めしており、これにも藤本市長は反対されていました。これも自治連合会なども巻き込み、市長と議会が対立していました。私も市長の指示で反対の意向を議会に示していましたが、これも議員からすれば面白くなかったと思います。

藤さんは、環境問題や子育てなどに強い思い入れがあり、各論の部分で職員と意見が合わないことがありました。それでも、職員のことは大切してくれましたので、信頼はあったと思います。

私が初めて部長を拝命したのが環境クリーン部長でした。1 月に就任した直後の 3 月に東日本大震災が発生しました。この時も、福島等からの避難者支援、市内放射線量測定、除染土の処理・保管など、部長として大変な経験をしました。

私はどうも大変な部署に配属される運命にあつたみたいです。

係長時代は介護保険の立ち上げを担当しました。市内各地で説明会に出向き、65 歳から保険料をとるとはけしからんと怒られました。

課長の時は、後期高齢者医療制度発足時に担当課異動になり、電話が鳴りっぱなしのなか、私も電話に出て、朝から夜遅くまで対応しました。この時も 75 歳の年寄りから保険料を取るとは何事だと怒られました。

今となっては良い思い出となっています。仕事は漫然とするよりも、新たな課題に向かって進めていく方が、そのときは大変ですが、自分の経験として

蓄積されるので、仕事の苦労は苦労と思うな、後で自分に返ってくると職員には言っています。仕事の進め方として、職員に常日頃話していることがあります。それは、「仕事は楽しく・仲良く・前を向き」です。

市役所の仕事は、楽でない業務や、自分に合っていない仕事もあります。どうせやらなければならないものなら、楽しくやった方が良いと言っています。大変だ、つまらないと思っても 1 日は過ぎていきます。楽しくやった方が得です。

二つ目の「仲良く」は文字通り職場の人達とは、性格や相性が合わない職員もいるかもしれません、市の仕事は個人プレーでなくチームプレーでやるもので。誰にも相談できずに孤立し病気になってしまい、ケースもあります。仲良く仕事をしていると、自然と助けあうことにつながり、結果として効率が上がります。

最後の、「前を向く」は、前例踏襲の仕事をしないで、新たな視点で仕事をしなさい、極端に言えばこれまでのやり方をまず否定してみて、もっと良い方法があるか、常に考えなさいと言っています。

また、管理職には、「職員を守る前に市民を守れ」と言います。

これは、課長は所属の部下がいるので、どうしても部下の意見を尊重します。部下から大変だからむずかしいと言われると、その結果をもって私のところに報告にきます。そのときは、それは市民のための発案ですか、職員が楽をするためのものですか。と確認させます。

話は変わりますが、市長室と副市長室は別々の個室になっていて、私から市長室に行くことはありますが、市長から副市長室に来ることはめったにありませんが、たまにニコニコしながら、私の部屋に来ることがあります。「今日どうですか。」とお酒のお誘いです。私も嫌いではありませんので、OKサインを出します。職員数人を誘い、夜の街へ繰り出します。大体 1 次会で終わることはなく、2 次会 3 次会へと続きました。5 時間際に市長の足音が聞こえるとまたお誘いだなと分かりますので、市長から言われる前にOKですと先に返事をしました。今では懐かしい思い出です。

小野塚市長は職員と飲むことはあまり好きでなく、私も小野塚市長とはプライベートでの飲み会は 1 回

ませんでした。

藤本市長の側近の副市長が、小野塚市長に変わって何故辞めないんだ。という声は、私の耳にもよく届いています。市長が替わったら副市長も辞表をだすのが道理だと思います。

所沢市の場合は、市長の任期は10月30日からになります。この時期は来年度予算や職員の人事など大変重要な時期です。小野塚市長は、議員活動も含め地方行政の経験がありません。また藤本市長との政策の違いもあり職員も不安だという声もありました。また、是非残ってほしいと言う部長もいました。こういうことを総合的に考えて、落ち着くまで副市長の職に留まることにしました。このことは事前に藤本さんにもお伝えしました。当然分かったとは言ってもらえませんでした。あらゆる非難は覚悟してたので続投することにしました。小野塚市長は私を頼りにしてましたので昨年の3月議会に副市長選任議案を出しました。これが議会で揉めることになりました。小野塚市長は、藤本市長の中村副市長ではなく、藤本市政を刷新するため別に選任すべきだという意見が多くありました。普通人事案件は常任委員会審議を省略し本会議で決めますが、今回は常任委員会を開催し、おまけに市長と私を参考人として委員会に出席させました。大石議員と石本議員から色々市長と私に質問がありました。

藤本市長は、市議会が進めている通年会期制導入に反対してましたので、私も当然通年議会には反対の立場で市議会と当たっていました。そんなこともあり、議員からは相当嫌われていました。私を抹消したかったのでしょうか

3月議会の最終日は、副市長選任議案の採択が遅れに遅れ日付が変わる寸前にギリギリで可決されました。それが昨年の3月のことです。今年の3月議会では、常勤監査委員の選任議案を提出しましたが、否決されました。これは昨年の副市長案件が尾を引いていると思っています。常勤監査を人質に私の辞任を迫ったと私は考えています。2期目の1年間、今年の3月で辞めることも考えましたが、市長からも強くお願いされたこともあり、後1年だけ引き受けました。そんな中今年の4月に難病を発症して入院加療することになりました。これ以上市長や職員に迷惑をかけるわけにもいかず、5月末

日をもって退任することにしました。病気の方は発見が早かったのと治療のおかげで今は普通にお酒も飲めるようになりました。ご心配おかけいたしました。45年の公務員人生いろいろなことがありました。最後は事務方のトップである副市長も経験させていたいた。その評価は様々だと思いますが、自分としては悔いはありません。勿論あのときこうしていれば良かったと思うことはありますが、自分としては良くやったと思っています。

今は特に仕事もしていない、午前中は航空公園を散歩したり、映画をみたり

家でまったり過ごしています。それと大リーグのドジャースの試合は毎回テレビを見ていました。国会中継と市議会中継も見ていました。

これからは1市民として何かしらお役に立てればと考えております。

最後に、これから所沢をどう考えるのという点に少し触れておきます。

今所沢市で進めている主な事業は、中核市への移行、これに伴う保健所の設置、これは5年後の市制施行80周年にあわせて実施されます。市民医療センター再整備、三ヶ島工業団地拡張、関越インター周辺区画整理、下安松・上安松地区2カ所における土地区画整理、上下水道インフラ整備、小中学校体育館エアコン設置などがあげられます。それぞれ多額の資金が必要となります。市の財政も相当厳しくなると思います。

また県の事業として、東京狭山線と463バイパス松郷交差点の立体交差化（アンダーパス）が、計画されていますが、起工時期等はまだ未定で予算化もされていません。

所沢は災害に強いまちと言われています。これからもそこそこ人気がある市だと思います。人口も極端に減少することもないと思います。

これからも活力あるまちづくりは進んでいくと思います。

所沢市のまちづくりも、楽しく、仲良く、前をみて。そして、自分だけを守るのではなく、所沢に住んでいる人を守る事をやっていけたらと思います。そういう意味でもローターカラボの果たす役割は大きいと思います。

最後までご静聴いただきありがとうございます。